



vol.13 ゴルフ倶楽部

東京弁護士会ゴルフ倶楽部に参加してみて

東京弁護士会ゴルフ倶楽部 日原 聡一郎 (64 期)

東弁ゴルフに参加させていただくようになり3年目になりました。

東弁ゴルフについては、関東七倶楽部を中心としたいわゆる名門コースで例会を行っており、相当の腕前でないと入会できないという話を聞いていたため、数年前に、参加してはどうかとお声がけいただいた際には、いまだに初心者専用を謳うゴルフスクールに通うアベレージゴルファーの私には敷居が高いと思い、入会をお断りしたこともありました。しかし、その後、ボス弁から入会のお誘いをいただいた際に、特段ゴルフの腕前に進歩は見られなかったものの、来年の東京オリンピックのゴルフ競技の会場である霞ヶ関カンツリー倶楽部東コースや軽井沢ゴルフ倶楽部など通常自分ではプレーすることができないようなゴルフコースでプレーをすることができるという誘惑にはかなわず、力不足を承知で入会させていただきました。

私が最初に参加した例会の会場は霞ヶ関カンツリー倶楽部でしたが、名門コースに行きたいというだけで私程度の腕前にもかかわらず東弁ゴルフに参加したことを後悔するとともに、プレー中に先輩方に迷惑をかけないだろうかと、行きの車中ではいつになく緊張したのを覚えています。しかし、東弁ゴルフの例会に実際に参加してみると、先輩方はみなさん私のようなアベレージゴルファーにも優しく、また、和気あいあいとゴルフを楽しむという雰囲気です。

毎回の例会は、親睦が優先ではありますが、競技方式で実施しています。「ノータッチ、OKパットなし」でのプレーです。私のようなアベレージゴルファーには、名門コースの速く難しいグリーンにおいて、OKパット

なしというのはなかなか大変です。バーディーチャンス
の位置につけながら、3パットなどということも珍しく
ありません。これには日頃いかにOKに救われていたか
を実感するとともに、例会以外のゴルフでもこれまで
以上に丁寧にパットをするようになりました。傍から
見るとそうでもないようですが、自分の感覚としては、
東弁ゴルフに参加するようになってからパターの腕前
が上達したと思っています。

東弁ゴルフへの入会からしばらくは、名門コースの
独特の雰囲気に圧倒されっぱなしでしたが、ここ数回
は、名門コースならではの、庭園のように美しくまた
管理の行き届いたコースを多少は楽しめるようになって
きました。

このように、東弁ゴルフに入会すると、素晴らしい
コースでゴルフをしながら楽しい一日を過ごすことが
できますが、我々若手、特に勤務弁護士に唯一厳しい
部分があるとすれば、例会の開催が平日であるという
点です。ただ、それを乗り越えて参加すれば、事務所
や修習期、会派を超えて多くの先輩弁護士と知り合う
機会を得られます。プレーの合間やレストランで先輩
方から何う事件処理等の体験談なども若手には大変
有難い貴重なものです。

多くの若手のみなさんの参加をお待ちしています。

東京弁護士会ゴルフ倶楽部 問い合わせ先

省略